

粧工連通知 2021003号

2021年10月15日

日本化粧品工業連合会傘下会員各位

日本化粧品工業連合会

会長 魚谷 雅彦

紫外線防止効果に対する耐水性測定法基準の制定について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本化粧品工業連合会では、このたび「日本化粧品工業連合会紫外線防止効果に対する耐水性測定法基準<2021年版>」を作成し、日本化粧品工業連合会の自主基準として2022年12月1日より運用することと致しました。

紫外線防止用化粧品に耐水性効果を記載される場合には、本自主基準に則った測定、判定、表記をされますよう、よろしく願い申し上げます。

敬具

日本化粧品工業連合会
紫外線防止効果に対する耐水性測定法基準<2021年版>

1. 耐水性測定法

ISO18861 Cosmetics — Sun protection test methods — Percentage of water resistance に基づき測定する。

2. 耐水性判定方法

ISO18861 に基づき測定し、得られた耐水性（SPF の保持率）（%Water Resistance)の平均値の 90%信頼限界の下限値が 50%以上の場合を耐水性効果ありと判定する。

3. 耐水性表記内容

水浴条件によって、下記表記方法に従って以下のとおり表記する。

3-1) 合計 40 分（20 分×2 回）の水浴条件の場合

耐水性効果ありと判定された場合には「UV 耐水性★」または「UV 耐水性☆」と表記する。

3-2) 合計 80 分（20 分×4 回）の水浴条件の場合

耐水性効果ありと判定された場合には「UV 耐水性★★」または「UV 耐水性☆☆」と表記する。

4. 耐水性表記方法

耐水性表記を行う場合は、耐水性試験を行う前の SPF 値を併記すること。なおこの SPF 表示は平成 23 年 10 月 5 日付 2 3 粧工連第 1 2 号「日本化粧品工業連合会 SPF 測定法基準の改定について」の SPF 算出方法に基づくものとする。

5. 本基準発効日及び経過措置期間

本基準の発効日は 2022 年 12 月 1 日とする。なお、経過措置期間として、2024 年 11 月 30 日までの 2 年間は、従前の表示を行えるものとする。

以 上